

特集 エネルギーの安定供給と低炭素社会の実現に向けて

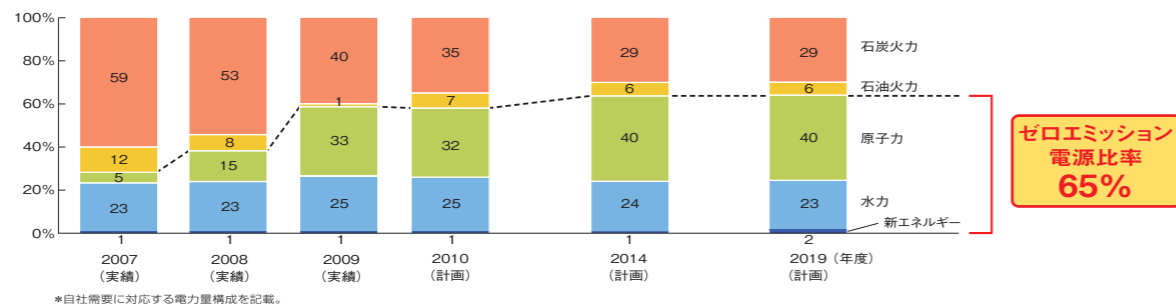
良質で環境にやさしい電気を、安定的にお届けできるよう、グループ一体となって取り組んでいます

電源のベストミックスとゼロエミッション電源比率の向上

北陸電力では、電気のお届けに際して、長期的視点にたち、水力・火力・原子力などの方式の特性を活かし、バランスよく組み合わせて発電する「電源のベストミックス」に努めています。

志賀原子力発電所1・2号機の安全・安定運転により、CO₂排出量の削減を図るとともに、化石燃料価格の変動影響を受けにくい経営基盤を確立します。加えて、水力・太陽光・風力・木質バイオマスなど、再生可能エネルギーの導入拡大を着実に進め、電源の多様化とゼロエミッション電源比率*の向上に努めます。*ゼロエミッション電源比率：CO₂を排出しない原子力発電・水力発電・新エネルギー発電の比率。

●発電電力量構成の実績と見通し

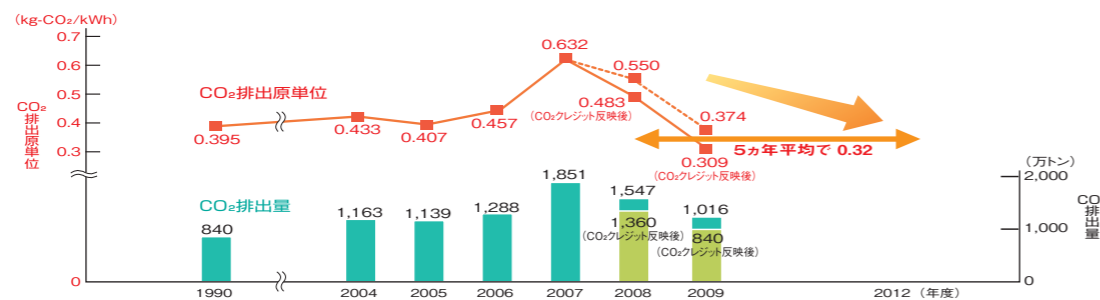


環境目標

《環境目標》 CO₂排出原単位*を1990年度対比20%削減
0.32kg-CO₂/kWh(2008~2012年度 5年平均)

*販売電力量1kWhあたりのCO₂排出量。

●CO₂排出原単位・排出量の推移



低炭素社会の実現に向けた需給両面の取組み

供給サイド	需要サイド
発電や電力設備の一層の高効率・低炭素化 <ul style="list-style-type: none"> ●志賀原子力発電所の安全・安定運転 ●再生可能エネルギーの導入拡大 <ul style="list-style-type: none"> ●水力発電の推進 ●メガソーラー発電所の建設推進 ●風力発電の推進 ●木質バイオマス混焼発電の推進 ●送配電損失の低減 	高効率機器の普及・電化による省エネ <ul style="list-style-type: none"> ●高効率化・電化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・エコキュートを中心とした環境性に優れたオール電化住宅の普及促進 【販売目標】エコキュート普及台数 2012年度末累計 15万台 ・業務用・産業用のお客さまへのヒートポンプ機器等の推奨 【販売目標】ヒートポンプ機器等開発 2012年度末累計 55万kW ・お客さまの省エネ・省CO₂のニーズにお応えする情報提供やコンサル活動推進 ●電気自動車の導入・普及促進 グループ全体で2020年度末までに400台程度を導入

供給面の取組み

志賀原子力発電所の安全・安定運転

原子力発電は、供給の安定性、経済性に優れているうえに、発電時にCO₂を排出しないため地球温暖化防止対策として最も有効な発電方法です。安定供給と低炭素社会実現の中核となる志賀原子力発電所の安全・安定運転に、引続き全力を尽くしてまいります。

安全・安定運転の徹底

- 運転・監視
中央制御室では、運転員が24時間体制(交替勤務)で、発電所全体の運転状況を集中的に監視・コントロールしています。
- 運転訓練・保守訓練
運転訓練シミュレータで原子炉の起動や停止などの手順をはじめ、故障や異常が発生したときに適切な対応ができるよう繰り返し訓練を行なっています。また、実機と同じものを使用した保守・点検訓練を行ない、保守員等の技能・技術レベル向上を図っています。
- 定期検査の実施
法令にもとづき約1年に1回原子炉を止めて、国の検査を受け、国が定めた安全上の技術基準を満たしていることを確認しています。
- 国などによるチェック制度
国の原子力保安検査官が原子力発電所に常駐し、定期的に検査確認等を行っています。



運転シミュレータ訓練



若手社員への技術指導

再生可能エネルギーの導入拡大

水力発電、太陽光発電、風力発電、木質バイオマス混焼発電などの再生可能エネルギーの導入を推進します。

●水力発電

河川維持放流水(河川環境の維持を目的としたダムからの放流水)の活用を進め、2010年11月には、仏原ダム発電所(出力210kW)が運転を開始します。



河川維持放流の状況(仏原ダム)

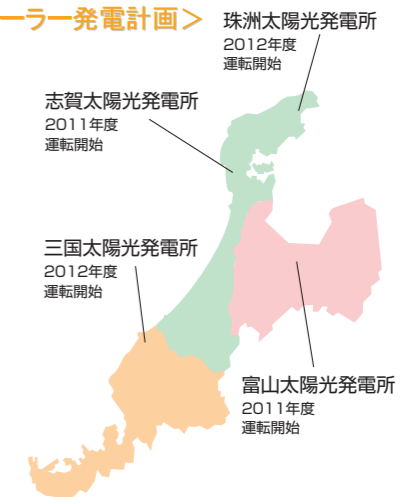
●風力発電

福浦風力発電所(21,600kW(2,400kW×9基))が、2009年10月に4基運転を開始しました。残り5基についても、2011年1月に運転を開始する予定です。

●太陽光発電

自社メガソーラー発電所の開発を北陸地域の4カ所(1,000kW×4カ所)で進め、2011年度から順次運転を開始します。

<メガソーラー発電計画>



●木質バイオマス混焼発電

敦賀火力発電所2号機に続き、七尾大田火力発電所2号機でも、2010年9月から実施する予定です。

皆さまから信頼される企業を目指して

お客さま満足の向上

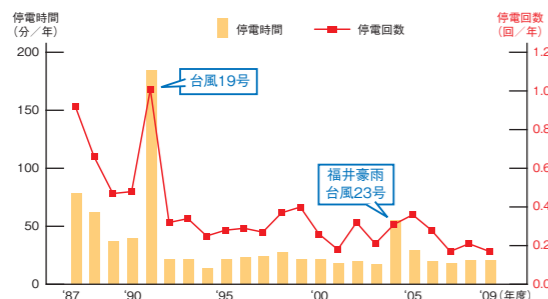
● 電力の安定供給

◆ 停電の少ない高品質な電気のお届け

お客さまへ電気を安全・安定的にお届けすることが北陸電力グループの最大の使命です。

これからも、お客さま一戸あたりの停電回数0.26回/年(至近5カ年平均)程度を維持し、高品質な電気をお届けしてまいります。

●お客さま一戸あたりの年間停電時間・停電回数の推移



◆ 現場技術力の向上

運転シミュレータを活用した実務訓練

発電部門では、運転技術力の維持向上のため、OJTによる実務教育を実施するとともに、運転訓練シミュレータを活用した訓練を行っています。



火力運転シミュレータ訓練

技術マスター等による技術指導・技術継承



移動用設備設営訓練

豊富な現場経験とすぐれた技術を併せ持った従業員を「技術マスター」として認定し、技術・技能をOJTや研修などを通じて後輩に伝えています。

技能競技会を通じた技術向上

日頃習得した技術の成果を発揮し、競い合うことで、現場技術力の向上を図っています。



配電工事安全技能大会

地域社会との共生

● 地域社会との共生に向けた活動

北陸電力グループは、地域に根ざした企業として、地域の各種イベント・祭礼への参加や、従業員会等による環境美化活動など、地域との共生に向けた活動に取り組んでいます。



じゃんこい魚津まつり



清掃活動

また、地域における芸術・文化事業やスポーツの振興支援にも積極的に取り組んでいます。



バレンタインコンサート(本多の森ホール)

● 教育支援

次世代を担う小中学生や高校生に、エネルギーや地球環境問題を身近なものとして捉え、正しい理解を深めていただくため、社員が講師として学校に出向く出前授業や、発電所などの見学会を実施しています。2009年度には出前授業を178回、見学会を49回実施し、あわせて延べ9,258名に参加いただきました。



学校での出前授業の様子

● コミュニケーション活動

「花のミュージアム フローリイ」や「アリス館志賀」などでのイベントを通じて、地域の皆さまとのコミュニケーションの充実に努めています。



フローリイでの地元中学校プラスバンド演奏

環境にやさしい社会の実現を目指して

需要面の取組み

低炭素社会実現に向けた取組み

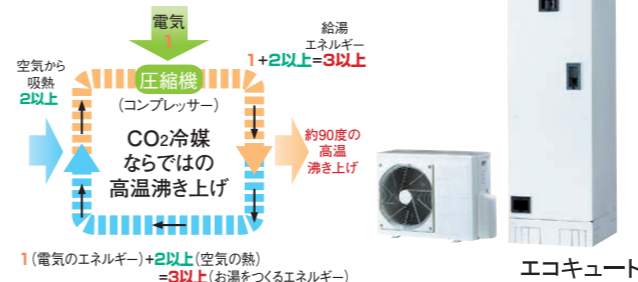
● 省エネ・省CO₂のご提案

エネルギーをより一層効率的にご利用いただくため、さまざまなご提案を行なっています。

◆ ご家庭での省エネのご提案

環境にやさしく、快適なエコキュートを中心としたオール電化住宅をご提案しています。2009年度末の累計戸数は18万戸となりました。

■エコキュートの仕組み



◆ 工場・オフィスでの省エネのご提案

工場やオフィスのお客さまへ、CO₂削減効果が高いヒートポンプ空調や給湯システムを中心に、お客さま設備全般にわたる省エネルギーコンサルティングを行なっています。



ヒートポンプ

● 電気自動車の導入・電気バスの活用

◆ 電気自動車の計画的導入

2009年度は電気自動車を11台導入し、急速充電装置も3台設置しました。2020年度までにグループ全体で400台程度の導入を目指します。



電気自動車

◆ 低床型電気コミュニティバスの開発

北陸電力と富山市が連携して取り組んだ「低床型電気コミュニティバス」の開発を完了し、富山市の「まいどはやバス路線」での実証運行試験を行ないました。



開発した低床型電気コミュニティバス

生物多様性に配慮した環境保全の取組み

北陸電力グループは、発電所建設時の環境影響評価等を通じて、生物多様性の保全に取り組んできました。また、これに資する植林等の森林保全活動など社会貢献活動にも力を入れています。今後も、生物や自然の恵みに感謝しつつ、持続可能な事業活動を目指します。

● 生態系や景観に配慮した発電所の建設



● 「水の恵みをありがとう! 森に恩返し活動」



● 野鳥観察会の開催



「北陸電力グループCSRレポート2010」の詳細はホームページ「CSRへの取組み」(<http://www.rikuden.co.jp/csr/>)をご覧ください。